

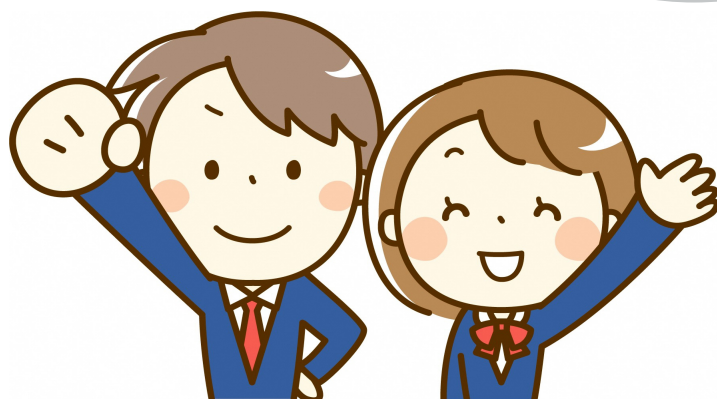


高校生の皆さんへ

みんなが自分らしく!!

考えてみよう 男女共同参画

2024



あなたの未来を描き、歩んでください

青森県は、すべての人が個人として尊重され、自らの意思と選択に基づいて自分らしく生きられる、活力ある社会の実現を目指しています。

自分らしい生き方は、皆さん一人ひとりが自分をしっかり見つめ、考え、自らの力で創り出していくものです。

誰もが自分の人生の主役です。そして、誰もがかけがえのない大切な存在です。

お互いを認め合い、自分らしく生きられる男女共同参画社会について考えてみましょう。



青森県

Aomori Prefectural Government



SDGsでも注目されているジェンダー平等

社会によって作り上げられた「男性像」、「女性像」があり、このような男性、女性の別を「**社会的・文化的に形成された性別**」、**ジェンダー (gender)** といいます。一方、生まれつきの生物学的性別をセックス (sex) といいます。

ジェンダーは、「男性だから」、「女性だから」という理由のもとに、「こうあるべき姿」として、所属する社会や文化の中で規定され、表現され、体現されます。

言葉遣いやしぐさ、考え方、ファッション、進路・職業選択など多岐に渡ります。

性別による差別をなくし、すべての女性と男性が対等に権利・機会・責任を分かち合える社会を作ること、女性が自分のことを自分で決めながら生きられる力をつけられるようにすることを目標としています。

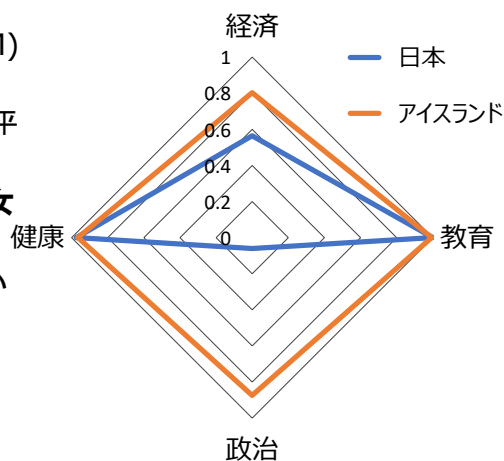
SDGsの掲げる理念は、「誰ひとり取り残さない」ことであり、「ジェンダー平等を実現しよう」は、SDGsの理念を実現するためにも不可欠な目標とも言えます。



世界と日本のジェンダーギャップの比較

世界経済フォーラム(WORLD ECONOMIC FORUM)が2023年に各国における経済、政治、教育、健康について男女格差を指数化(1が完全平等、0が完全不平等)した「ジェンダー・ギャップ指数2023」によると、**日本は146か国中125位**と、世界の中では**男女格差が大きい国である**ことがわかります。

ちなみに1位は14年連続でアイスランドとなっています。



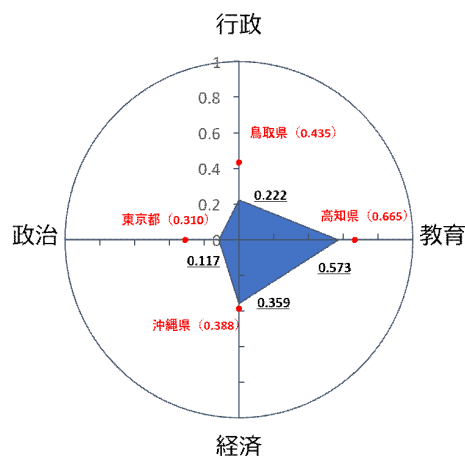
青森県におけるジェンダーギャップの現状

上智大学の三浦まり教授らが2023年に各都道府県における経済、教育、政治、行政(※)について、男女格差を指数化(1が完全平等、0が完全不平等)した「都道府県版ジェンダーギャップ指数」によると、

青森県の**全国順位は経済が19位、教育は22位、行政は40位、政治43位**という結果となりました。

ちなみに、各分野ごとに、経済は沖縄県(0.388)、教育は高知県(0.665)、政治は東京都(0.310)、行政は鳥取県(0.435)が1位となっています。

※都道府県版ジェンダー・ギャップ指数では比較的地域差の少ない「健康」分野を外し、代わりに住民に身近な「行政」分野を採用しています。



考えてみよう！女性の政治参画

令和5年4月9日に行われた青森県議会議員一般選挙において、当選議員に占める女性は過去最多の7名で、青森県議会議員に占める女性議員の割合は14.6%になりました。

内閣府が作成した女性の政治参画マップ2023によると、国会議員における女性の割合は、衆議院で10.3%、参議院では26.8%となっています。

ちなみに、2021年に実施されたアイスランド議会の選挙では、当選議員に占める女性の割合は47.6%と、日本と女性議員の比率が大きく異なります。

日本はどうして女性の政治参画が低いのでしょうか？また、女性議員の割合が低いことで私たちの生活にどういった影響があると考えられるのでしょうか？さらに、女性比率を高めるためには、どのようなことが必要でしょうか？



あなたが思う女性が政治参画することへの課題などについて書いてみよう

考えてみよう！身の回りのアンコンシャス・バイアス



「家事や育児は女性の方が得意だ」「男性の方がリーダーシップがとれる」「あの子はピンクの服を着ているから女の子だ」など、自分自身が気づいていない思い込みや偏見を「アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）」と言います。

アンコンシャス・バイアスは子どもの頃からの経験や周囲の期待等の影響によって積み重ねられますが、日常にあふれ、誰にでもあり、あること自体が悪いわけではありません。

問題は、アンコンシャス・バイアスから生まれた言動が、知らず知らずのうちに、相手を傷つけたり、人間関係を悪化させたり、自分自身の可能性を狭めてしまったりと、様々な影響があることです。

アンコンシャス・バイアスに対処するためには、決めつけないこと・押しつけないこと、会話しながら相手の表情や態度に現れる「変化」に注目すること、そして、「これって、私のアンコンシャス・バイアスなの？」と自問してみることなどが重要です。

あなたが今まで感じた（聞いた）アンコンシャス・バイアスについて書いてみよう

多様な職種で活躍している先輩にインタビュー！

これまで女性中心とされてきた職種でも多くの男性が活躍しています。

青森県で保健師として働いてる種市雅さん（三本木高校卒）に今の仕事を選んだ理由などを伺いました。

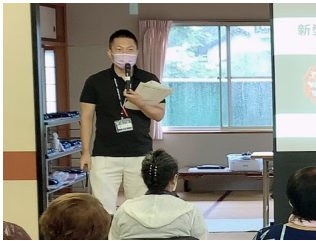


保健師になったきっかけを教えてください。

種市さん：高校卒業後、航空自衛官を経て大学へ入り直し、総合病院で看護師として勤務しました。そこで、予防的な関わりの必要性を認識し、公衆衛生看護活動を行うため、保健師になりました。

保健師の仕事や仕事をしていてよかったことを教えてください。

種市さん：赤ちゃんが生まれた家庭や健康に課題がある家庭に訪問したり、住民から健康相談を受けたり、地域の公民館などで健康教育をしたり、感染症の調査や健康観察をしたりと、疾病の予防や健康の回復・保持増進に関わる、多彩な仕事をしています。



住民やその家族が「自分たちの力で健康を回復し、保持することができる状態になった」時が、仕事をしていてよかったと思う時です。

周りに同性が少なく、困ったことはありませんか？

種市さん：看護職としての経験の中で、特に感じたことはありません。もちろん、「男性ではなく女性の看護職にケアをお願いしたい」という要望をいただくこともあります。個人の価値観を尊重することは専門職として当然なので、気になりません。

高校生の皆さんへ一言お願いします。

種市さん：これからの人生で大切なことは、「人間性」だと思います。高校生の皆さんには、多様な価値観に触れたり、成功や失敗、挫折などをたくさん経験したりすることで、「人として成長し続けること」を忘れないでほしいです。一つ一つの経験は、必ず皆さんを人間として成長させてくれます。

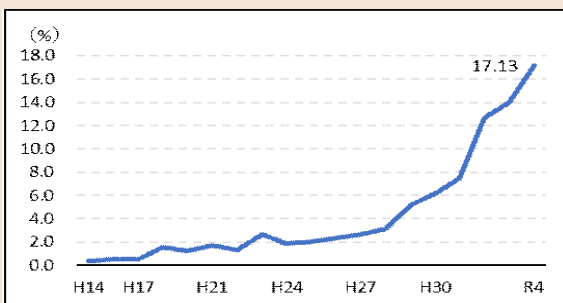


これからの当たり前！男性の家事・育児参画

男性の育児休業取得率は年々向上し、令和4年雇用均等基本調査によると、全国の男性の育児休業取得率は17.13%となりました。一方で、10歳以上の男性及び女性の家事・育児関連時間を比較すると、女性が男性の約4倍となっています。（青森県の場合）

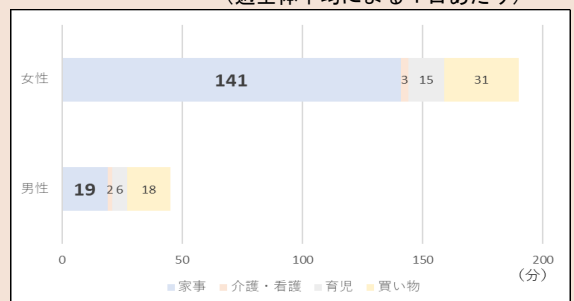
まだまだ男女の差が多い状況ですが、男女がともに家事や育児を担っていくことが大切です！

男性の育児休業取得率



出典：厚生労働省「雇用均等基本調査」

10歳以上の男性及び女性の家事・育児等関連時間
(週全体平均による1日あたり)



出典：総務省「社会生活基本調査」

多様な職種で活躍している先輩にインタビュー！

これまで男性中心とされてきた職種でも多くの女性が活躍しています。八戸市の株式会社田名部組で現場監督として働いてる栗山知佳乃さん（三沢商業高校卒）に今の仕事を選んだ理由などを伺いました。

建設業を選んだきっかけを教えてください。

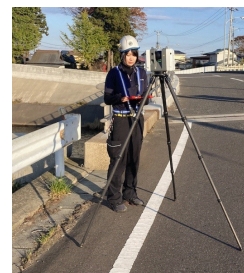
栗山さん：橋を見るのが好きで、漠然と建設業に興味を持ちました。高校は部活動を優先して進学しましたが、建設業への興味や憧れを捨てきれず、専門的な知識等を学ぶため、工学部のある県外の大学に進学し、現在の会社に就職しました。



現在の仕事内容について教えてください。

栗山さん：現場監督の見習いをしています。工事工程の提案や組み直し、工事経過記録などの書類作成、業者との調整などを行っています。また、測量を行うこともあります。

みんなで協力をして、一つの現場を終えたときの達成感は、計り知れません。



周りに同性の方が少なく困ったことはありませんか？

栗山さん：会社の方針で女性が働きやすいようにと、着替えスペースやトイレの確保などを積極的にしてくれていますし、性別に関わらず、積極的にコミュニケーションをとるようにしているので、特に困ったことはありません。

最後に高校生の皆さんへメッセージをお願いします。

栗山さん：進路選択などで悩んだりすることもあると思いますが、高校生である今を一杯楽しんでほしいです。私なりに建設業の仕事や魅力をSNSから積極的に発信しているので、皆さんぜひ見てください！



(株) 田名部組
Instagram

多様な職種で活躍している女性を紹介しているサイト

あおり女性建設
技術者ネットワーク会議



あおりなでしこ



女性のロールモデル



彼氏や彼女というとなつらい…、これってもしかしてデートDV？

結婚相手や交際相手など、親密な関係にある人からふるわれる暴力をDV（ドメスティックバイオレンス）といいます。

そのうち、恋人同士で起こる暴力を「デートDV」といいます。

「デートDV」は、**身体的暴力**（殴る・蹴るなど）だけでなく、**精神的暴力**（束縛や言葉の圧力など）、**性的暴力**（性的な行為の強要など）、**経済的暴力**（デートのお金をいつも払わせるなど）も含まれます。

令和2年「男女間における暴力に関する調査（内閣府）」では、全年齢で、**女性の6人に1人、男性の12人に1人**が「交際相手から暴力を受けた経験がある」と回答しています。

たとえば…

1

彼女がデートに短いスカートで来たから、マジで怒った！俺だけの彼女だから、他の男子には見られたくないんだ！



2

彼のスマホはいつもチェックしてるよ～！他の女の子と連絡とってたら嫌だし、許せない。



3

デート代？おねだりしてるし、もちろん、いつも彼持ち。私に出させるなんてありえない。当然でしょ？



4

以前、彼女とけんかして嫌がらせに、SNSに彼女のプライベート写真を投稿したよ。彼女が悪いんだから。写真は、その後すぐ削除したから大丈夫でしょ？



これらはすべて、デートDVです。

デートDVで暴力を受け続けると…

すべて自分が悪いと考えてしまうようになります。

物事に集中できず、成績が落ちたり、**学校生活に支障**をきたしたりするようになります。

言葉で脅されたり、暴力をふるわれたりしても、**簡単に離れられなく**なります。

人（特に異性）を信じられなくなり、**心を閉ざす**ようになります。

日常的に殴られるなど、ケガにより、**身体に一生の傷**を負うこともあります。

学校や会社を辞めざるをえなくなり、**精神的にも経済的にも追いつめられて**しまいます。

その愛情表現はホンモノ？

楽しいはずのデートや連絡のやりとりが苦しい、自分の意見を相手に言いにくくなったり…。それは「デートDV」かもしれません。

あなたやまわりの友達は大丈夫？1人で抱え込まず、まずはあなたが信頼できる人（家族、友だち、学校の先生など）や専門の窓口にご相談しましょう。

※裏表紙に相談窓口一覧を掲載しています

性暴力って、知ってる？

「性暴力」とは、あなたが望まない性的行為のことです。

性暴力による被害は性別、年齢、職業などに関わらず、誰にでも起こりえます。

また、加害者は見知らぬ人ばかりではありません。友だち・先輩・後輩・指導者・上司・家族などの親しい人など、いかなる人も加害者になりえます。

相手が嫌だと感じる性的行為は**性暴力**です。

たとえば…

- 電車やバスの中で痴漢にあった
- 性的なことを言われた、性的な嫌がらせを受けた
- 嫌なのに、無理やりキスをされた
- 性行為をしたくないのに、交際相手に嫌われたくなくて、断れなかった
- 盗撮やのぞきをした
- 性器などを見せた、触らせた
- 嫌がっているのに、無理やり性行為をした
- 裸の写真を送るよう要求し、送られた画像を保存した

こころや体に
いろいろな
影響が出ます

性暴力被害にあうと…

こころにおこること

- 恐怖、怒り、不安、自分を自分を責める気持ちなどが沸いてくる
- 被害の記憶が抜け落ちる
- 人間関係がわるくなる など

体におこること

- 眠れない、悪夢をみる
- めまいや吐き気がする
- 仕事や学校に行けない
- 妊娠や性感染症などになる など

もし、被害にあったら…

被害にあったのは、**あなたのせいではありません**。あなたは何も悪くありませんので、**自分を責めないでください**。

1人で抱え込まず、まずはあなたが信頼できる人（家族、友だち、学校の先生など）や専門の窓口にご相談しましょう。

※裏表紙に相談窓口一覧を掲載しています

デートDVや性暴力の

被害者や加害者にならないために皆さんが気をつけることは…

- ・暴力を容認してはいけません
- ・自分の気持ちを大切に、嫌だと感じたことははっきり言いましょう
- ・自分の考えを相手に押しつけず、相手の気持ちや考え方を尊重しましょう
- ・インターネットで知り合った相手はもちろん、交際相手や友だちであっても下着姿や裸の写真を撮る、撮らせる、送る、送らせることはしないようにしましょう



秘密は厳守します

デートDVや性暴力に関する主な相談窓口はコチラ！

内閣府

性暴力の悩み、SNSで相談してみませんか？

相談時間 毎日

17:00～21:00



あおり性暴力被害者支援センター

相談受付 りんごの花ホットライン

電話番号 017-777-8349

または #8891

受付時間 平日 9:00～17:00

上記時間以外、土・日・祝日、年末年始は国のコールセンターにつながります。

警察庁性犯罪被害相談電話

電話番号 #8103 (全国共通ダイヤル)

発信場所を管轄する都道府県警察につながります

青森県警察本部警察安全相談室

電話番号 017-735-9110

または #9110

受付時間 8:30～17:00

土日祝日及び年末年始はお休みです

青森県女性相談所

電話番号 017-781-2000

受付時間 月～金 8:30～20:00

土日祝 9:00～18:00

DVホットライン (24時間対応)

電話番号 0120-87-3081

青森県男女共同参画センター

電話番号 017-732-1022

受付時間 9:00～16:00

水曜日及び年末年始はお休みです



パープルリボンは女性への暴力根絶のシンボルです。



発行 / 青森県 県民活躍推進課

〒030-8570 青森市長島一丁目1番1号

TEL : 017-722-1111 (代表)

Email : danjokyodosankaku@pref.aomori.lg.jp

